

クラブ行事&運営の留意点

クラブが主催する行事には、若獅子誕生にふさわしい結成式や、認証状伝達式（チャーターナイト）、今こそ飛躍のチャンスと張り切る周年の行事があるかと思うと、そのクラブの歴史が感じられる円熟した周年行事があり、また、会員としての向上を狙っての勉強会なども含めると、行事に対する取り組みはクラブによって様々のようです。

クラブが行事を計画するにあたり、その主となる目的以外にライオンズクラブを正しく理解して貰うよい機会と考えるならば、奉仕団体にふさわしい謙虚な姿勢とあたたかい心遣いが感じられる内容でありたいものです。

次の諸点に留意をお願いします。

1. 祝宴、アトラクション等の企画はあまり華美に流れることなくライオンズらしさが前面にできるように。
2. 登録料は、参加者にあまり多くの負担がかからぬよう、配慮してください。
3. 諸行事の日程が他のクラブと重ならないようできるだけ早めに計画して、所属のZCとも連絡を取りながら日時を決め、決定してください。キャビネットへ連絡する必要があるものについてはキャビネット事務局へ連絡もお願いします。
4. クラブ内の研修については、担当委員だけでなく、たくさんの会員を巻き込んで行えるようにしてください。333-D 地区のセミナーなども多数の参加をお願いします。

セミナー参加の薦め

地区などで開催される各種セミナーは、キャビネット（地区ガバナー）の仕事の中でも、重要な目標である「会員資質の向上を図る」「リーダーシップの育成」「最新情報の伝達」にあります。

毎年同じ委員会名称で行われるので、「内容も変わらないだろ？」と思う方も多いようですが、そうではありません。ライオンズは日々進化しており、地区ガバナー以下の地区役員は他地区とのセッションで最新情報を持ち帰り、皆さんに伝えようとしています。それをセミナーで参加した皆さんが受け取ることで、会員の資質が磨かれ、リーダーシップの育成・向上にも成果がでるのです。

例え、情報に新しいものがなくても、現在の自分たちの情報が正しいかを確認していただく機会にもなります。自分たちがライオンズの高揚に努めるため、その判断材料となるものがセミナーの中にはたくさん転がっているのです。

会長の皆さん、セミナーに参加した方がいたら、クラブ例会でぜひ報告発表の機会を設けてください。

忙しい日々の中、333-D地区は実に各クラブともセミナーに対して出席率は実に高いと思います。今後とも「活かし」の機会としていただくよう、お願いします。

結成会

結成会は、その地域社会に新しいライオニズムの灯が燈される記念すべき日であり、新しいクラブの新しい会員が初めてライオンズクラブの行事に参画する大事な行事です。スポンサークラブは結成会を、より意義の深いものとする配慮と企画運営の指導をお願いします。

地区ガバナー、キャビネット内局員並びに地区エクステンション委員長が出席する予定です。当地区では地区ガバナーより、例会用の国旗やライオンズ旗などが贈呈されます。

結成日の日時はキャビネット事務局、担当がある役員との打ち合わせなども含めて、早めに行いましょう。

認証状伝達式

クラブがチャーター（認証状）を受理することは国際協会会則及び付則に同意し、同規則に従うことを誓約する意味があります。新クラブはそのことをスポンサークラブおよびブラザークラブ、地域社会に披露する重要な行事として式典を行います。それらの企画立案にあたっては、地域性を考慮し、簡素でありながらも感銘深い式典となるよう、計画してください。

結成会から認証状伝達式（チャーターナイト）にいたるまでのクラブ運営は、その後のクラブ活動に決定的な影響を与えるもっとも大切な期間だと言われています。創立総会后、潮が引くようにスリーピングしていく団体があると聞きますが、ライオンズクラブも結成後にチャーターナイトという目的を持たなかったら、その後の活動は低調なものであるかもしれません。

チャーターナイトという義務付けられた行事によって、会員に共通の目標ができ、同時に共同の行動が起こり、会議が開かれ計画が立ち、話し合いのうちに力を合わせて進めていくことになります。

やがて芽生える友情の絆と強固な団結はクラブ活動の活力源となり、積極的なクラブ運営の中から価値ある奉仕活動が生まれ、クラブ発展の基盤となることでしょう。

チャーターナイトはいくつもの重要な意義を持つクラブ最大の式典行事ということになります。

周年行事

結成あるいはCNから5年、10年、15年・・・と5年刻みに周年行事を行っているクラブが多いですが、周年行事はチャーターナイトとは趣を異にします。

奉仕の精神を掲げて長い道程を歩むライオンズクラブは、周年行事を通して過去となった年月を振り返り、懐かしい思い出を語りながら、反省も忘れず、明日への前進につなぐよい機会ととらえ、あらためてライオニズムの高揚を誓い合う節目の行事としています。

周年行事の形式は「式典」でも「集い」でもよいと考えます。

クラブ内部の祝い事として行うのが本旨です。記念にふさわしいアクティビティを考えてください。

参加を呼び掛ける場合は、スポンサークラブはもちろんのこと、ブラザークラブやゾーン、リジョンの役員やガバナーなど、クラブで招請範囲を決め、連絡が早めに行えるようにしましょう。招請範囲は特に規定はありませんが、公認プロトコールを持って集まる人々に敬意を払い、失礼の無いように留意しましょう。

10周年のクラブにはチャーター・アニバーサリー・バッチが国際本部から贈られます。

(以後は25周年、50周年、75周年の際に交付されます)

2012年4月からマイルストーンシェブロン壮婦も貴重な機会として、キャビネットを通して送られるようになっていきます。会員の功績に敬意を表する機会を設けてください。

会員増強・退会防止

ライオンズクラブは常に会員増強を各クラブに呼び掛けています。このことはライオンズのモットーである「ウィ・サーブ」の精神を社会に広める最良の方法だからです。また、クラブの運営と事業の活性化を図り、地域に密着したクラブに育てるためには、会員の増強は絶対的な要件と考えられています。

会員の維持増強はクラブ運営の成否にかかる基本的な問題として取り組んでください。

もちろん、その前に退会防止（ドロップアウトゼロ）に努めていくのは当然ですが、クラブは会員増強に対し、具体的な方策を立て、真剣に取り組んでくださるようお願いいたします。

女性会員増強

その昔、ライオンズクラブは男性だけで構成されておりましたが、1987年7月、台北で開催された第70回国際大会で会員の資格は男子も女子も同等であると決められました。皆さんの地域には「善良な徳性の持ち主で、地域社会において声望のある」女性が多くいるはずですが。会員増強やエクステンションの決め手として女性に声をかけてください。女性会員の入会によって、クラブの雰囲気は向上し、活性化されると期待されています。

次年度就任予定の山田實紘国際会長も、家族会員を含めた「女性会員の増強」を強力に推進したい考えで、FWTを立ち上げ、取り組んでいくことになっています。

会則研修会

規則なくして組織は動きません。ライオンズクラブもクラブ会則によって基本的な運営が行われています。しかし歳月の経過とともに、会則の適用が一部省略や簡素化されたり、解釈に融通をきかせたり、誤って適用されている例が多く見られます。

新入会員に対してはもちろんですが、全会員を対象に少なくとも年2回は例会の場で会則研修会を行ってください。

「会則及び付則」を担当する委員会がリーダーとなってライオンズクラブの会則が他の組織と比べてどこが違うのかというような点についても研修してください。

誤って運用されている事項については、原則、会則に戻すよう配慮してください。

新入会員研修会

クラブに新会員が入会したら、できるだけ早い機会にクラブの現状と基礎的なライオンズについての研修会を行ってください。

1年未満の新入会員に対して開催される（リジョンまたは）ゾーン毎の研修会には、必ず出席するよう指導してください。

新入会員にはライオンズの目的、歴史、組織、運営、会則、用語などの研修を行うと共に、クラブの活動状況やアクティビティの実例などをおりませ、楽しいクラブライフの中に、奉仕の喜びと感動を覚えることを教え導き、会員の誇りを持つよう指導します。

講師にはGLTコーディネーターやZCの他、ゾーン内から適任な講師が選ばれ、指導に当たることが望ましいとされています。

新入会員には日常のクラブのあり方が何よりの研修となります。（リジョンや）ゾーンの合同研修だけに依存せず、クラブの適時適切な指導をお願いします。